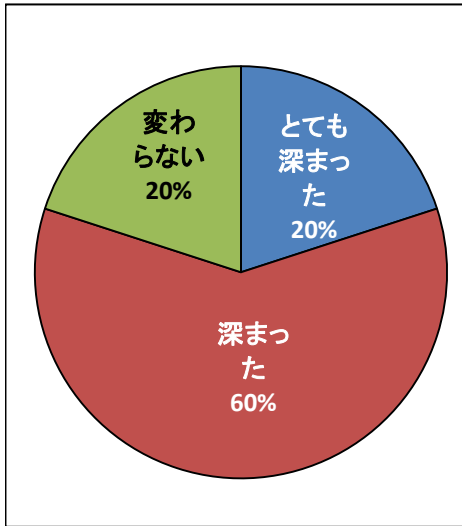


# 2014年度 UNCCA個人会員アンケート 集計結果

回答数	20
-----	----

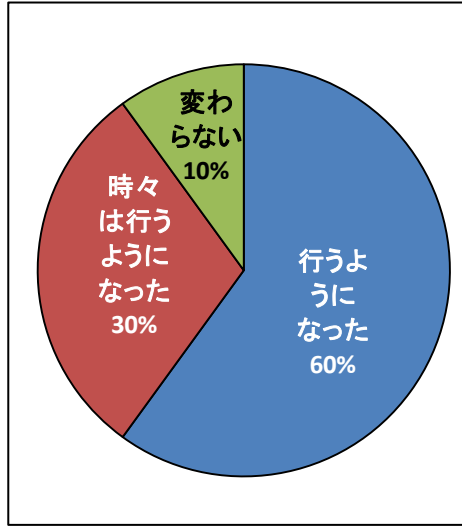
Q1.UNCCAに入会されて、地球温暖化への知識は深まりましたか

とても深まった	4	20.00%
深まった	12	60.00%
変わらない	4	20%



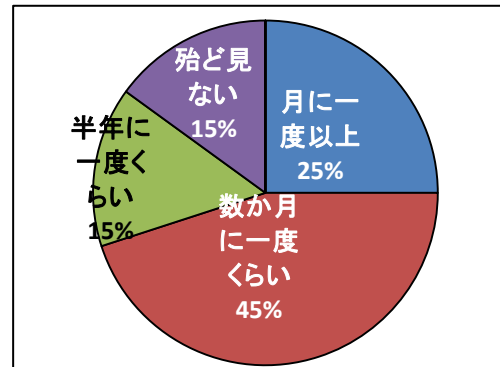
Q2.UNCCAに入会されて、日常生活などで地球温暖化対策を行うようになりましたか

行うようになった	12	60.00%
時々を行うようになった	6	30.00%
変わらない	2	10.00%



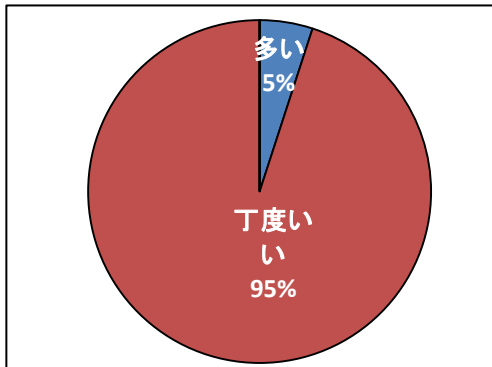
Q3.UNCCAのHPの閲覧頻度

月に一度以上	5	25%
数か月に一度くらい	9	45%
半年に一度くらい	3	15%
殆ど見ない	3	15%
見たことがない	0	0%



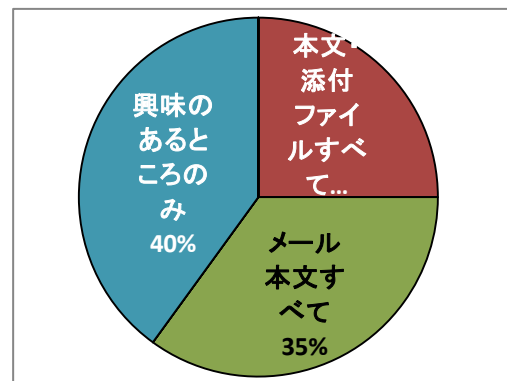
Q4.メールの量

多い	1	5.00%
丁度いい	19	95.00%
少ない	0	0.00%



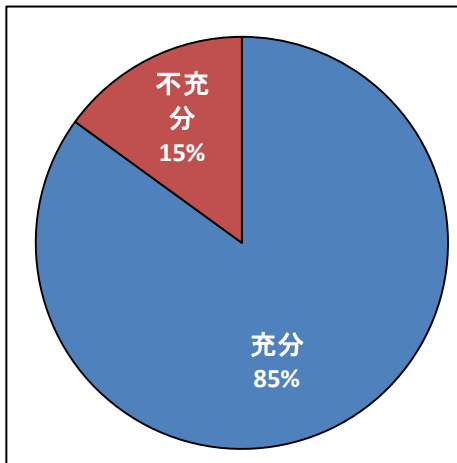
Q5.メールはどの程度読まれていますか

届いていない	0	0%
本文・添付ファイル	5	25%
メール本文すべて	7	35%
添付ファイルのみ	0	0%
興味のあるところのみ	8	40%
殆ど読まない	0	0%
全く読まない	0	0%



Q6.UNCCAが開催するイベントの広報は十分ですか

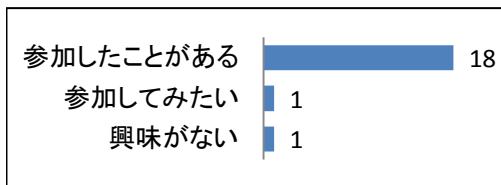
充分	17	85%
不充分	3	15%



Q7.UNCCAのイベントに参加したことがありますか Q8.イベント開催はいつが望ましいですか

参加したことがある	18	90.00%
参加してみたい	1	5.00%
興味がない	1	5.00%

土曜	8	40.00%
日曜・祝日	9	45.00%
平日	6	30.00%

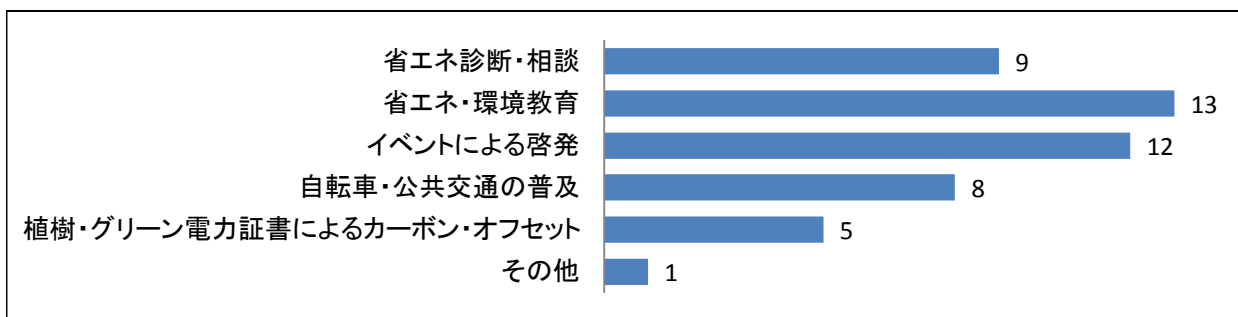


Q9.UNCCAの活動を広めるために良い方法があれば教えてください

新聞・ラジオ・テレビ等を通じてのさらなるPR活動 例えば自転車マナーキャンペーン実施活動等の報道や 各種講習会等の報道を多くする
Facebookページはお持ちでしょうか。
他の温暖化防止活動グループとコンタクトしてイベントを計画して活動推進を図る。
市広報に情報を掲載する。自治会の回覧板等に情報を提供する。
市役所で活動内容を掲示できないかと思えます。
情緒的に偏ることなく、論理的に技術的にしっかりとした考え方を広報していくべきと考えます。

Q10.UNCCAは今後どのような活動をすべきだと思いますか

省エネ診断・相談	9	45.00%
省エネ・環境教育	13	65.00%
イベントによる啓	12	60.00%
自転車・公共交通の普及	8	40.00%
植樹・グリーン電力証書によるカーボン・オフセット	5	25.00%
その他	1	5%



Q11.UNCCAの会員を増やすのに効果的な方法があれば教えてください

イベント等で呼び掛ける。
地道な活動だけど、「未来の人々に、素敵な私たちの地球をお返しする使命感」を共有する友達を増やすことに情熱を傾けましょう。
企業や官庁へのPRや説明会を多くし、それを通じての会員募集を行う
上記と同じですが、市役所に掲示して会員募集も行うのはどうでしょうか。
宇部志立市民大学環境学部受講生及び卒業生へ積極的にアプローチして 見たら宜しいのではないかと思います。

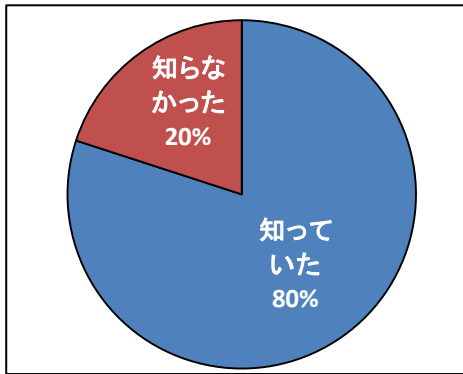
Q12.その他、UNCCAへの提言

宇部市内の環境関連団体の再編や連携・環境関連行事の官民の分担のみえる化
-------------------------------------

地球温暖化について

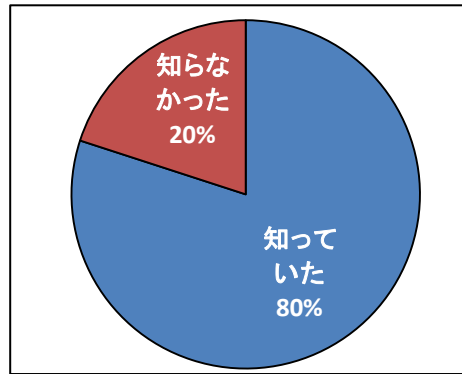
Q1.1880～2012年において、世界平均地上気温は0.85℃上昇しました。このまま進むと2100年に地球の平均気温は最大で4.8℃上昇する。(IPCC第5次報告書)

知っていた	16	80.00%
知らなかった	4	20.00%



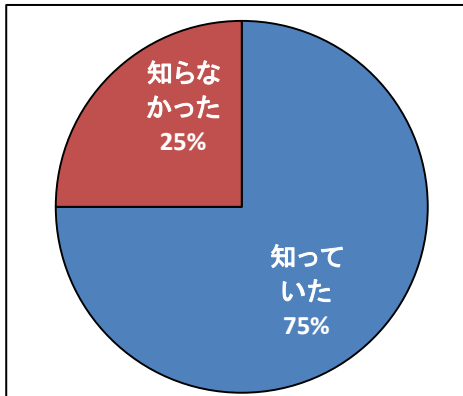
Q2.地球温暖化の原因といわれている大気中の二酸化炭素(以下CO2)濃度は産業革命前の280ppmから100ppm上昇し、そのカーブは地球の平均気温の上昇カーブと整合している

知っていた	16	80.00%
知らなかった	4	20.00%



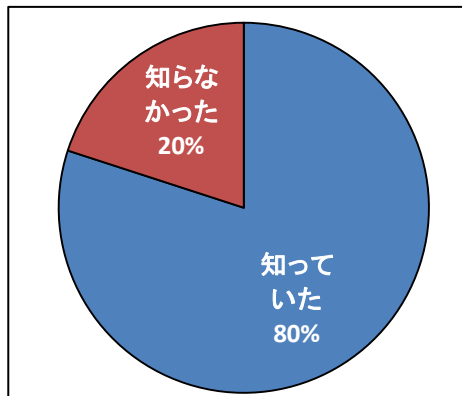
Q3.2011年度世界全体のCO2排出量は318億トン。日本のCO2排出量は中国(26.9%)米国(16.6%)インド(5.7%)ロシア(5.3%)に次いで3.7%で5番目に多い

知っていた	15	75.00%
知らなかった	5	25.00%



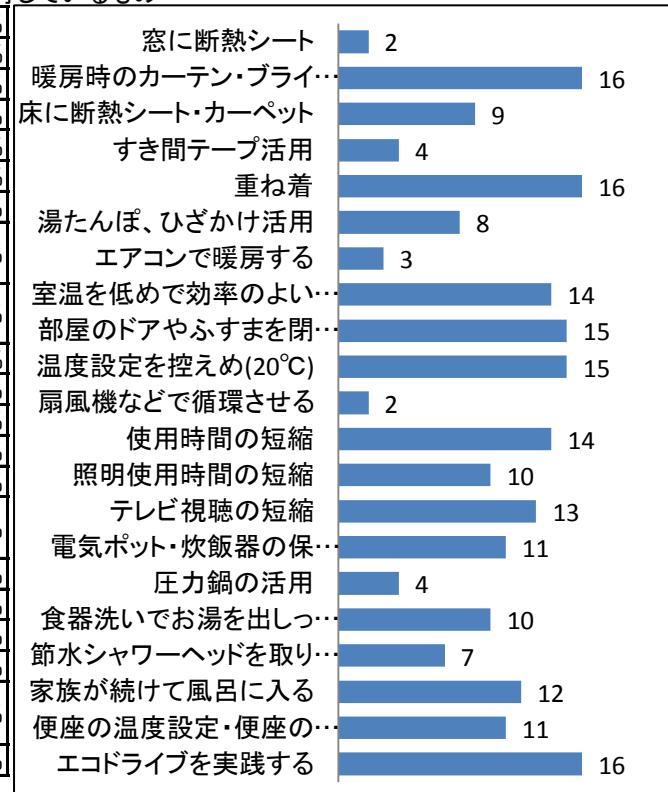
Q4.下図の1990年～2012年の部門別のCO2排出量をみると、業務その他部門・家庭部門が増加している

知っていた	16	80.00%
知らなかった	4	20.00%



Q5.「家庭ですぐ出来る冬の取り組み21」のうち、実行しているもの

窓に断熱シート	2	10.00%
暖房時のカーテン・ブラインド	16	80%
床に断熱シート・カーペット	9	45.00%
すき間テープ活用	4	20.00%
重ね着	16	80%
湯たんぽ、ひざかけ活用	8	40%
エアコンで暖房する	3	15.00%
室温を低めで効率のよい部分暖房を活用	14	70.00%
部屋のドアやふすまを閉め、暖房範囲を小さくする	15	75.00%
温度設定を控えめ(20℃)	15	75%
扇風機などで循環させる	2	10.00%
使用時間の短縮	14	70.00%
照明使用時間の短縮	10	50.00%
テレビ視聴の短縮	13	65.00%
電気ポット・炊飯器の保温をやめる	11	55.00%
圧力鍋の活用	4	20.00%
食器洗いでお湯を出しっぱなし	10	50.00%
節水シャワーヘッドを取り付	7	35.00%
家族が続けて風呂に入る	12	60.00%
便座の温度設定・便座のふたを閉める	11	55.00%
エコドライブを実践する	16	80.00%

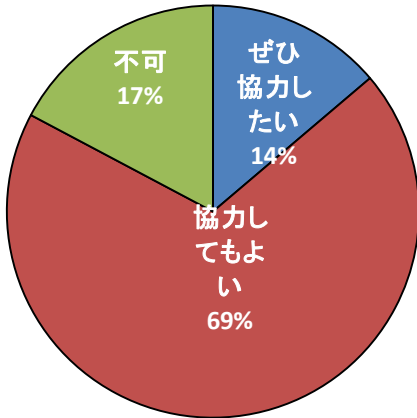


## 2014年度 UNCCA団体会員アンケート 集計結果

回答数	29
-----	----

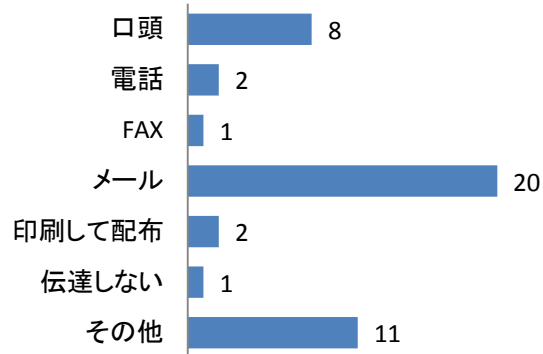
Q1.UNCCAのイベントにご協力いただけますか

ぜひ協力したい	4	13.80%
協力してもよい	20	69%
不可	5	17.20%



Q2.情報の伝達方法

口頭	8	27.60%
電話	2	6.90%
FAX	1	3.40%
メール	20	69%
印刷して配	2	6.90%
伝達しない	1	3.40%
その他	11	37.90%



Q3.UNCCAへの提言

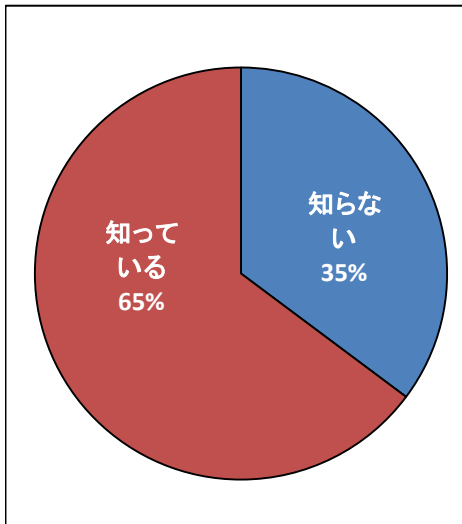
環境業務の一環として環境意識の高揚につながるような情報を提供して頂けるとありがたい。

# 2014年度 UNCCA団体会員(所属員)アンケート 集計結果

回答数	71
-----	----

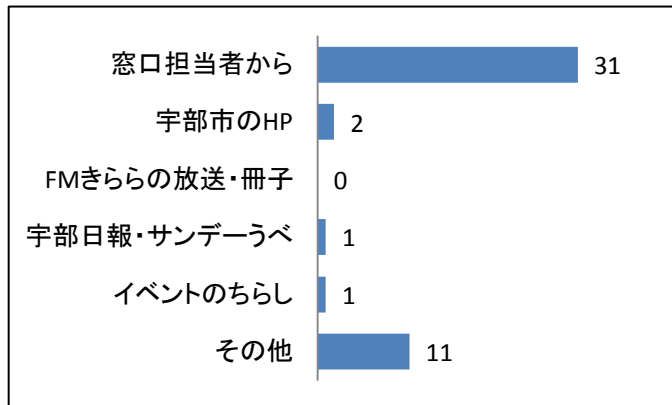
Q1.あなたが所属する団体がUNCCAの会員になっているのをご存知ですか

知らない	25	35.20%
知っている	46	65%



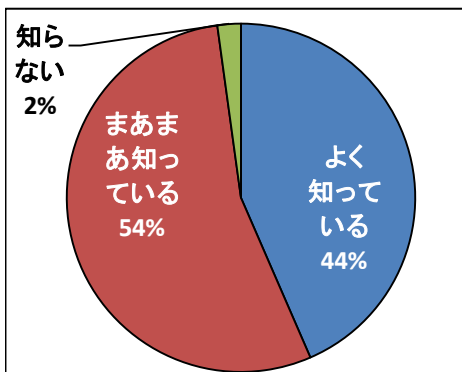
Q2.UNCCAを何でお知りになりましたか

窓口担当者から	31	43.70%
宇部市のHP	2	2.80%
FMきららの放送・冊子	0	0%
宇部日報・サンデーうべ	1	1.40%
イベントのちらし	1	1.40%
その他	11	15.50%



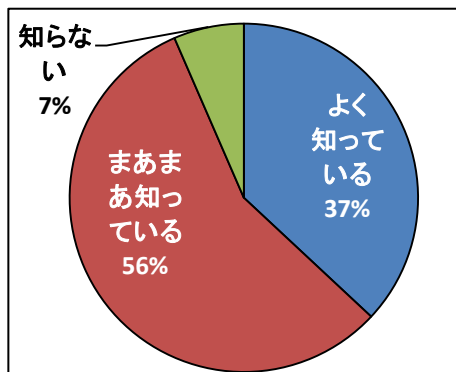
Q3.何をやる団体か知っていますか

よく知っている	20	28.20%
まあまあ知っている	25	35.20%
知らない	1	1.40%



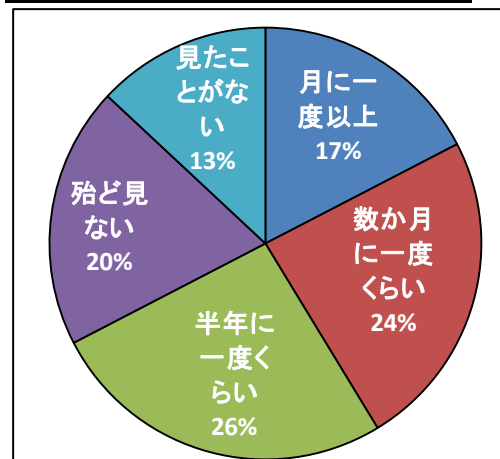
Q4.活動内容を知っていますか

よく知っている	17	23.90%
まあまあ知っている	26	36.60%
知らない	3	4.20%



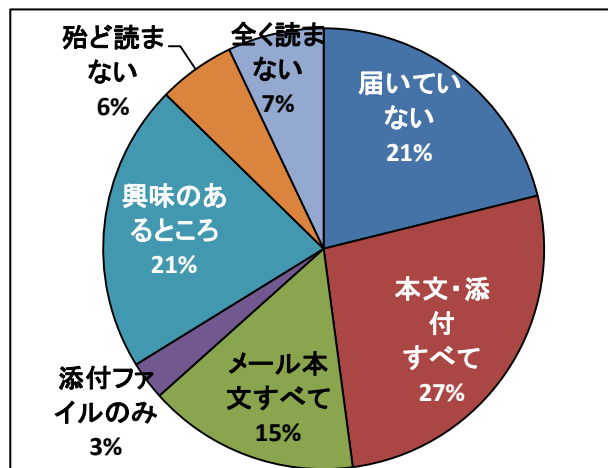
Q5.UNCCAのHPの閲覧頻度

月に一度以上	8	11.30%
数か月に一度くらい	11	15.50%
半年に一度くらい	12	16.90%
殆ど見ない	9	12.70%
見たことがない	6	8.50%



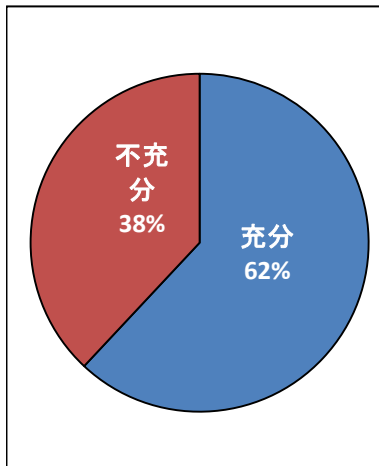
Q6.UNCCAが発信するメールはどの程度読まれ

届いていない	15	21.10%
本文・添付ファイルすべて	19	26.80%
メール本文すべて	11	15.50%
添付ファイルのみ	2	2.80%
興味のあるところのみ	15	21.10%
殆ど読まない	4	5.60%
全く読まない	5	7%

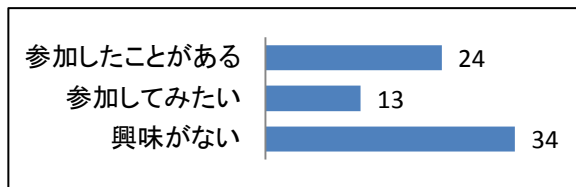


Q7.UNCCAが開催するイベントの広報は十分ですか Q8.UNCCAのイベントに参加したことがありますか

充分	44	62%
不充分	27	38%

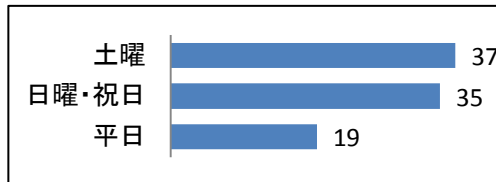


参加したことがある	24	33.80%
参加してみたい	13	18.30%
興味がない	34	47.90%



Q9.イベント開催はいつが望ましいですか

土曜	37	52.10%
日曜・祝日	35	49.30%
平日	19	26.80%

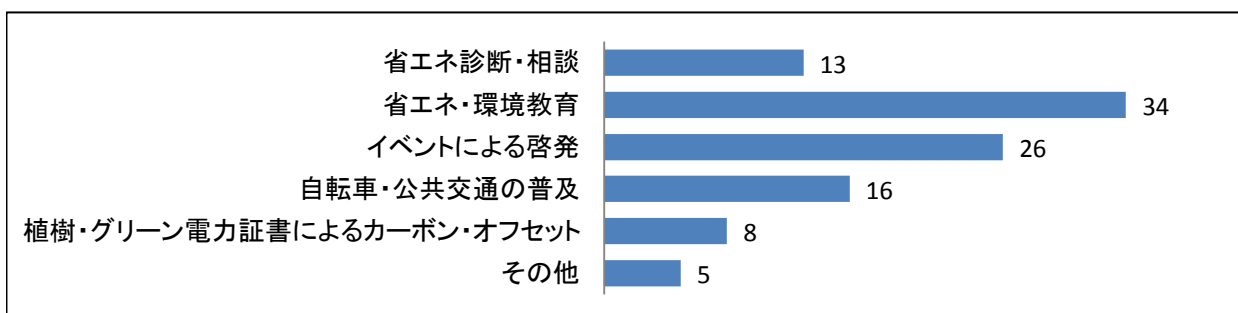


Q10.UNCCAの活動を広めるために良い方法があれば教えてください

年間計画や早めに周知 だいたいどのくらいの方が集まるのか
親子で参加できる楽しい体験型環境イベント・フェイスブック・年2回の活動広報誌・他市の地球温暖化対策協議会との連携・省エネがどれだけ温室効果ガス削減につながることも、光熱水費がどれだけ節約できるかにポイントをずらして啓発すること。(家計お助け)
公共施設にこだわらず人の集まる場所(集客施設等)、時間帯に出向いてはいかがでしょうか？(UNCCAには行政と違いフレキシブルな活動を期待) そういう意味でQ9は未回答にしたかったです。
地道な取組しかないと思います。
テレビ、ラジオ等メディアへの積極的出演
文章の回覧など
地域のイベント等での広報活動
もっと活動についてアピールするべき
1.ショッピングモールや自治体運営の公共施設等の広告。特に宇部市東部地区→山口市阿知須地区へ(山口市阿知須地区には宇部市東部市民の行動エリアが広範囲にあり、宇部市の広報・啓蒙活動の見落としが存在しています。東岐波公民館のリサーチ不足です) 2.自治会回覧の交番だよりの端書き (→交番だよりの予算支援もお願いしたいところです。お年寄り見守り対策です。東部地区の広報・啓蒙活動は低いと思います。)
今以上に多方面への情報発信
メディア・インターネットによる積極的なPR活動

Q11.UNCCAは今後どのような活動をすべきだと思いますか

省エネ診断・相談	13	18.30%
省エネ・環境教育	34	47.90%
イベントによる啓	26	36.60%
自転車・公共交通の普及	16	22.50%
植樹・グリーン電力証書によるカーボン・オフセット	8	11.30%
その他	5	7%

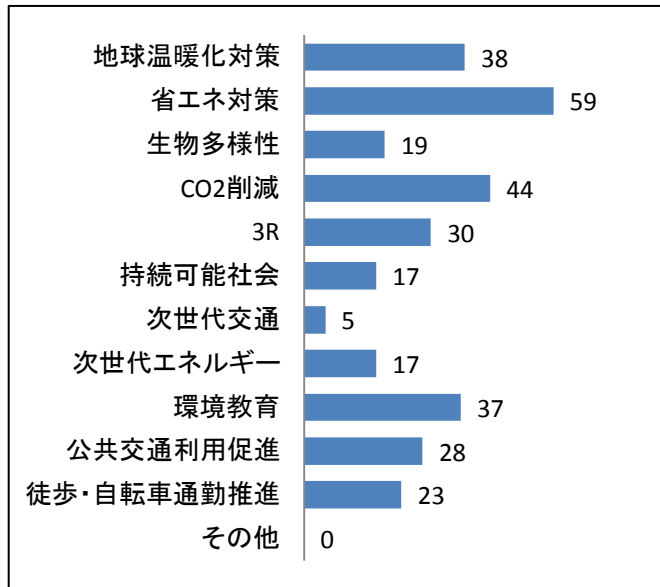


Q12.UNCCAの会員を増やすのに効果的な方法があれば教えてください

自転車通勤が増えるように呼びかける。
CMを流す
会員の特典 親睦旅行(エコツアー)
何事にも主義主張を優先しない啓蒙活動こそ市民活動です。会員獲得は二の次です。
個人会員の会費無料化
今以上に多方面への情報発信、幅広い世代が参加できるイベントの開催
親子で参加できる楽しい体験型環境イベント フェイスブック 年2回の活動広報誌 他市の地球温暖化対策協議会との連携 省エネがどれだけ温室効果ガス削減につながることも、光熱水費がどれだけ節約できるかにポイントをずらして啓発すること。(家計お助け)

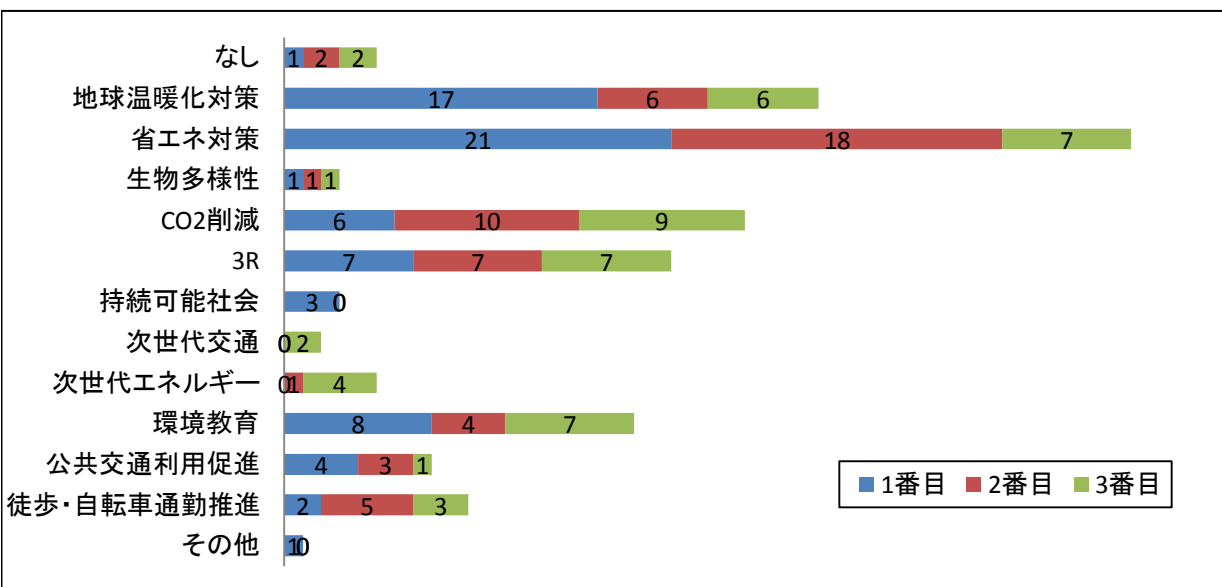
Q13.貴団体では地球温暖化対策としてどのようなことを行っていますか

地球温暖化対策	38	53.50%
省エネ対策	59	83.10%
生物多様性	19	26.80%
CO2削減	44	62%
3R	30	42.30%
持続可能社会	17	23.90%
次世代交通	5	7%
次世代エネルギー	17	23.90%
環境教育	37	52.10%
公共交通利用促進	28	39.40%
徒歩・自転車通勤推進	23	32.40%
その他	0	0%



Q.14 Q.13の取組の優先順位

取組内容	1番目	2番目	3番目
なし	1	2	2
地球温暖化対策	17	6	6
省エネ対策	21	18	7
生物多様性	1	1	1
CO2削減	6	10	9
3R	7	7	7
持続可能社会	3	0	0
次世代交通	0	0	2
次世代エネルギー	0	1	4
環境教育	8	4	7
公共交通利用促進	4	3	1
徒歩・自転車通勤推進	2	5	3
その他	1	0	0



Q15.その他、UNCCAへの提言

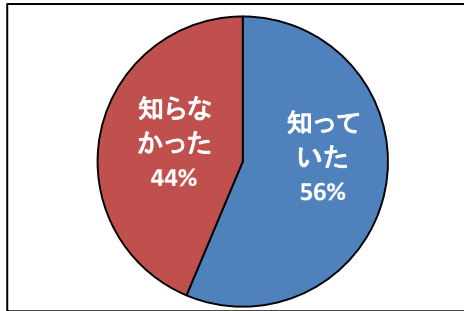
テレビ、ラジオ等メディアへの積極的出演

広報(宣伝)は繰り返しが必要だと思います。下記の地球温暖化に関する会員への問題は、定期的に行い、分析評価をしたり、年々向上していくのか統計を取ったりして、効果を数値化するとよい。

地球温暖化について

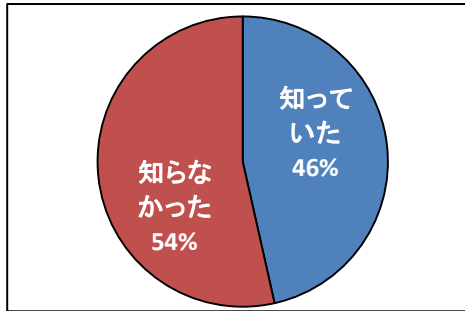
Q1.1880~2012年において、世界平均地上気温は0.85℃上昇しました。このまま進むと2100年に地球の平均気温は最大で4.8℃上昇する。(IPCC第5次報告書)

知っていた	40	56.30%
知らなかった	31	43.70%



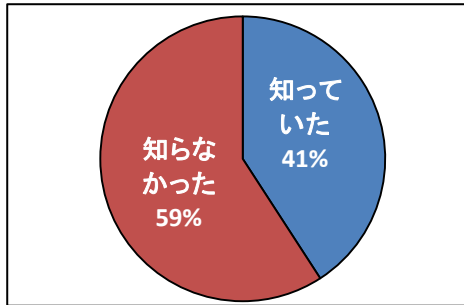
Q2.地球温暖化の原因といわれている大気中の二酸化炭素(以下CO2)濃度は産業革命前の280ppmから100ppm上昇し、そのカーブは地球の平均気温の上昇カーブと整合している

知っていた	33	46.50%
知らなかった	38	53.50%



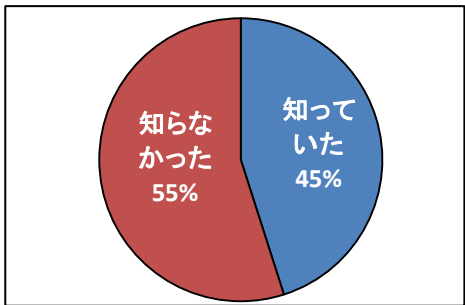
Q3.2011年度世界全体のCO2排出量は318億トン。日本のCO2排出量は中国(26.9%)米国(16.6%)インド(5.7%)ロシア(5.3%)に次いで3.7%で5番目に多い

知っていた	29	40.80%
知らなかった	42	59.20%



Q4.下図の1990年~2012年の部門別のCO2排出量を見ると、業務その他部門・家庭部門が増加している

知っていた	32	45.10%
知らなかった	39	54.90%



Q5.「家庭ですぐ出来る冬の取り組み21」のうち、実行しているもの

窓に断熱シート	9	12.70%
暖房時のカーテン・ブラインド	44	62%
床に断熱シート・カーペット	25	35.20%
すき間テープ活用	13	18.30%
重ね着	49	69%
湯たんぽ、ひざかけ活用	22	31%
エアコンで暖房する	18	25.40%
室温を低めで効率のよい部分暖房を活用	24	33.80%
部屋のドアやふすまを閉め、暖房範囲を小さくする	36	50.70%
温度設定を控えめ(20℃)	27	38%
扇風機などで循環させる	12	16.90%
使用時間の短縮	28	39.40%
照明使用時間の短縮	36	50.70%
テレビ視聴の短縮	23	32.40%
電気ポット・炊飯器の保温をやめる	31	43.70%
圧力鍋の活用	10	14.10%
食器洗いでお湯を出っぱなしにしない	24	33.80%
節水シャワーヘッド	10	14.10%
家族が続けて風呂に入る	26	36.60%
便座の温度設定・便座のふたを閉める	24	33.80%
エコドライブを実践する	39	54.90%

